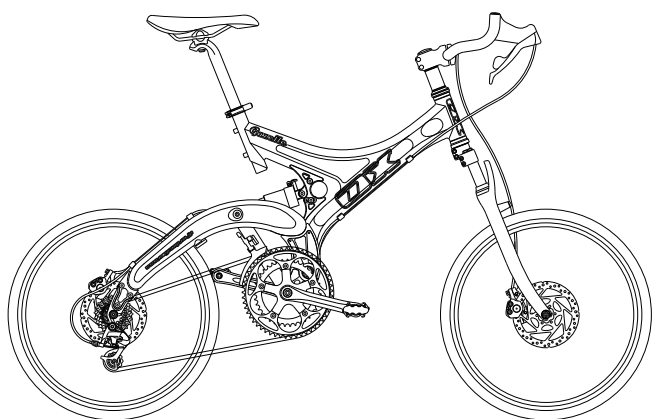
未来を開発する

本書はフレームセットに関する取扱説明書です。各パーツの取扱方法については、ご使用になるパーツの取扱説明書をよくお読みください。

Gazelle
ガゼル
取扱説明書

この度は当社の商品をお買い求めいただき、ありがとうございます。

本書および品質保証について

●「保証登録ハガキ」にフレームNo、お客様のお名前、ご連絡先、販売店名、お買い上げ日、など必要事項をご記入いただいた上で、20日以内に当社に返送していただくことにより、3年間フレームセットに関する無償修理が受けられます。
※必ず切り取った「保証書」に必要事項が記入されていることを確かめ、お買い求めの販売店からお受け取りください。
●必ずお買い求めの販売店にて防犯登録をしてください。
●本書を読み終えた後は、大切に保管し必要に応じてご活用ください。
●本書を紛失してしまった場合は、再発行（有料）いたしますので、販売店または当社までご連絡ください。

⚠ 警 告

●仕様によっては、一般の自転車と乗車感覚が異なる場合がありますので、自転車乗り入れ可能な平坦な公園や広場で十分に練習し、乗車感覚をつかんでから使用してください。
●道路で使用する場合には、ベル、ランプ、リフレクターを装着し交通ルールを守ってください。
●必ず乗車前の点検を実施してください。
●激しい悪路は走行しないでください。
●道路の凹凸、縁石などでの走行は注意してください。操作が不安定になるおそれがあります。
●調整作業に不安がある時は、無理をせず販売店にご相談ください。
●ガタや異常があるときは使用しないでください。すぐに販売店にご相談ください。

※ガゼルと図が異なるところがありますが、ご容赦ください。
※ガゼルは、自分の好みや用途によって様々なバリエーションを可能にする自転車です。自由な発想で、安全かつ自分勝手にお楽しみください。

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

【表示の意味】

⚠警告 この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

禁止 この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。

強制 この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

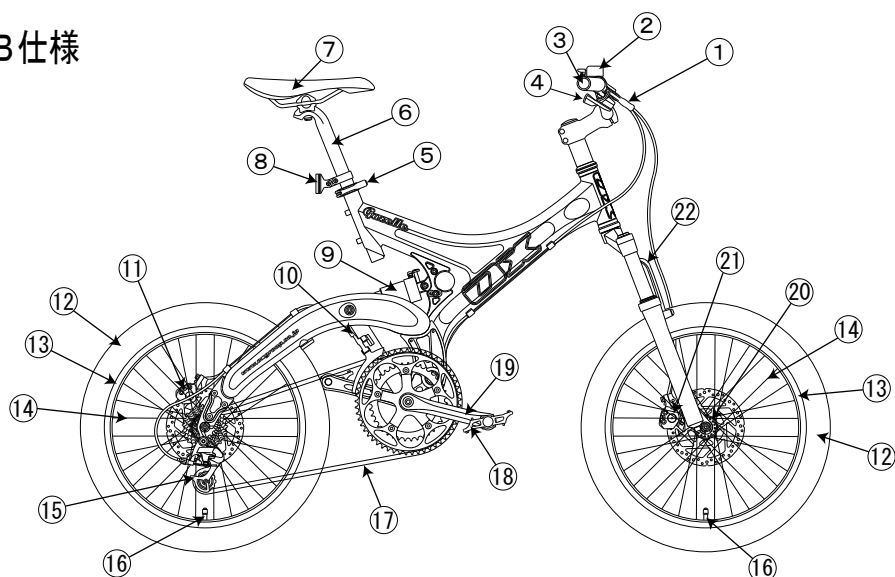
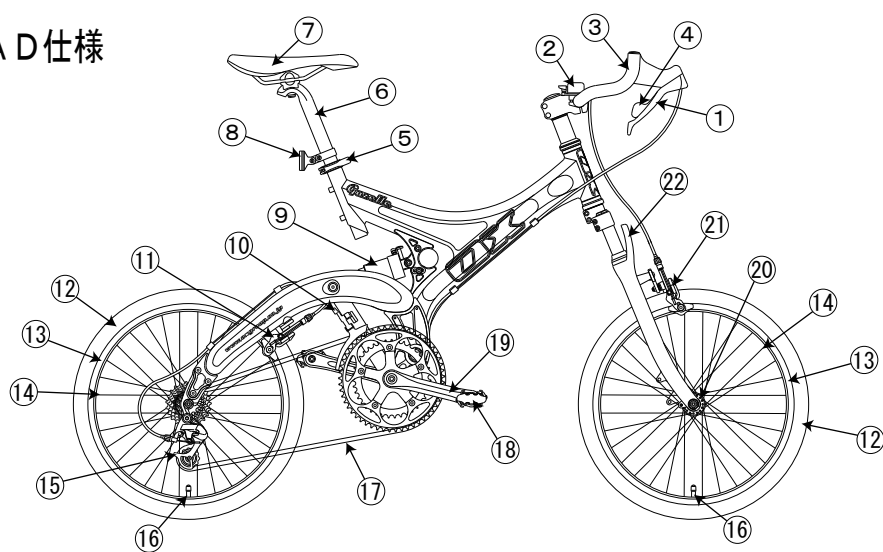
⚠警告

- 安全快適にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよく読み、理解してからお使いください。
- まちがった取り扱いや調整は事故につながる危険があります。警告、注意、禁止、強制事項を必ず守ってください。
- 乗るまえの「日常点検」と、販売店にお願いする「初回点検・定期点検」を必ず実施してください。
- お子様が使う場合は保護者の方が必ず読んで、正しい乗り方と、してはいけないことをよく指導してください。
- 故障、修理などで当社の部品の交換が必要な場合は、必ず当社純正部品を使用してください。
- 取り扱い方がわからないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

＜もくじ＞

各部の名称

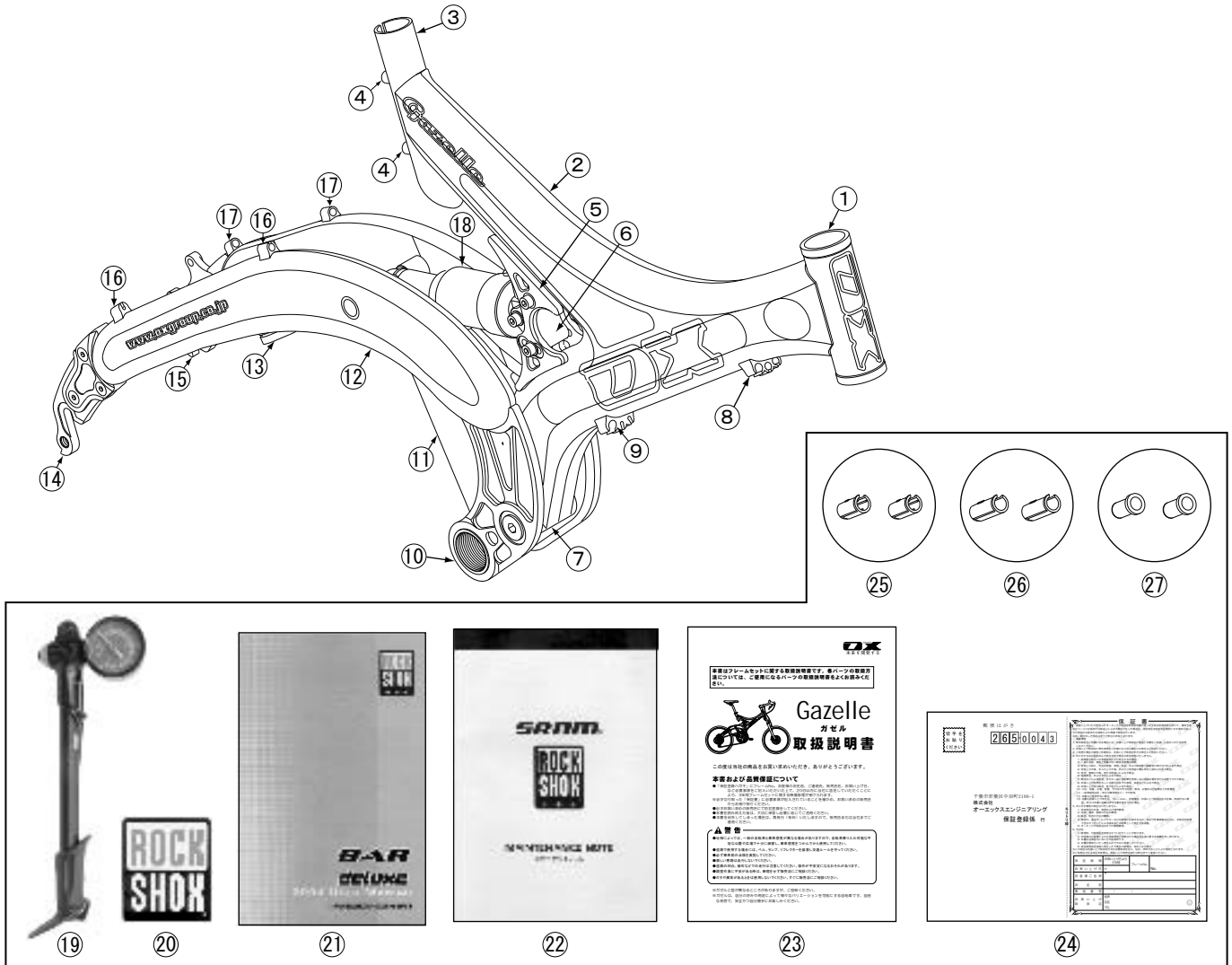
工場出荷時は、ガゼルはフレームのみの状態です。（P.3）
パーツの組み合わせにより、様々な「あなただけのGazelle」を作り上げることが可能です。
次の図は、ガゼル完成車状態の一例です。

ＭＴＢ仕様

ＲＯＡＤ仕様

①	ブレーキレバー	⑨	リアサスペンション	⑰	チェーン
②	ベル	⑩	フロントディレイラー	⑱	ペダル
③	ハンドルバー	⑪	後ブレーキ	⑲	ギヤクランク
④	シフトレバー	⑫	タイヤ	⑳	前ハブ
⑤	シートクランプ	⑬	リム	㉑	前ブレーキ
⑥	シートポスト	⑭	スポーク	㉒	前ホーク
⑦	サドル	⑮	リアディレイラー		
⑧	リフレクター	⑯	エアバルブ		

フレーム各部の名称

工場出荷時は、ガゼルは次の図の状態です。(図はMTB仕様選択時)

P.18の仕様諸元の寸法を参照し、お好みのパーツと組み合わせ、「あなただけのGazelle」を作り上げてください。

ガゼルをご利用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよく読み、すべてのパーツと構成部品についてよくご理解ください。

付属品

メインフレーム	
①	ヘッドチューブ
②	メインモノコック
③	シートチューブ
④	ボトルゲージ取付ナット
⑤	サスペンションプレート
⑥	サスペンションブラケット
⑦	ピボット
⑧	ワイヤーストッパー(JS-AL3-3JCR)
⑨	ワイヤーストッパー(JS-AL3-3JCL)

スイングアーム	
⑩	ボトムブラケット
⑪	フロントディレイラー取付パイプ
⑫	スイングアームモノコック
⑬	スイングアームアーチ
⑭	リアアクスルプレート右
⑮	リアアクスルプレート左
⑯	ワイヤーストッパー(JS-AL3-1AC)
⑰	ワイヤーストッパー(JS-AL4-1C)

サスペンション	
⑱	リアサスペンションユニット

付属品	
⑲	サスペンション用エアポンプ
⑳	ROCKSHOXステッカー
㉑	ROCKSHOX取扱説明書
㉒	ROCKSHOXメンテナンスノート
㉓	本書
㉔	保証書/保証登録ハガキ
㉕	油圧ﾌﾞﾚｰｷﾎｰｽｶﾗｰ(JSW-01-005)
㉖	油圧ﾌﾞﾚｰｷﾎｰｽｶﾗｰ(JSW-01-003)
㉗	ﾌﾞﾚｰｷﾜｲﾔｰｶﾗｰ(JA10-132)

各部品の名称

　ガゼルには、ガゼル独自の部品が使われています。ガゼルに関するお問い合わせの際は、下の図の名称を参照し、お問い合わせください。

㉙ ※オプション
仕様により形状が異なります。

NO	名称	NO	名称
①	メインフレーム	⑯	皿CAPボルト M6-10
②	スイングアーム	⑰	皿CAPボルト M8-15
③	サスペンションブラケット	⑱	CAPボルト M6-40
④	ピボットスペーサー	⑲	CAPボルト M6-50
⑤	ベアリング 6903DDU	⑳	ワッシャー M6小
⑥	ピボットボルト	㉑	ナイロンナット M6薄型
⑦	ピボットフランジナット	㉒	油圧ブレーキホースカラー（JSW-01-005）
⑧	スイングアームアーチ	㉓	油圧ブレーキホースカラー（JSW-01-003）
⑨	リアサスペンションユニット	㉔	ブレーキワイヤーカラー（JA10-132）
⑩	サスカラー	㉕	ガゼル用ステッカー　OX　ヘッドパイプ
⑪	サススペーサー	㉖	ガゼル用ステッカー　OX　メインパイプ
⑫	MTBリアアクスルプレート左	㉗	ガゼル用ステッカー　Gazell
⑬	MTBリアアクスルプレート右	㉘	ガゼル用ステッカー　URL
⑭	ROADリアアクスルプレート左	㉙	フロントキャリパーブレーキステー（※オプション）
⑮	ROADリアアクスルプレート右		

正しい使用条件

【標準常用速度】　15～24km/h　※この標準常用速度は、この自転車を設計する上で想定した標準的な速度です。

⚠警告：高速での事故・転倒は大ケガのおそれがあります。スピードはいつもひかえめにしてください。

【標準適用体格】

●サドルに腰をおろしペダルを下にさげて足を乗せたとき、ひざに余裕があるように調整できること。
初心者の方はサドルに腰をおろしたとき、安全に足が地面につくこと。

安全に足が地面にとどく

⚠警告：足が地面に届かない方は乗らないでください。

●ブレーキレバーを余裕をもって握ることができること。

【乗　員　体　重】　80kg以下　※乗員体重は、この自転車を設計する上で想定した標準的な乗員の体重です。

フレームNo表示位置

【フレームNo表示位置】

●フレームNoは、フロントディレイラー取付パイプの後面に打刻してあります。
●保証修理を受けるために必要となりますので、忘れずに保証書にご記入ください。
●フレームNoは、防犯登録の際にも必要です。

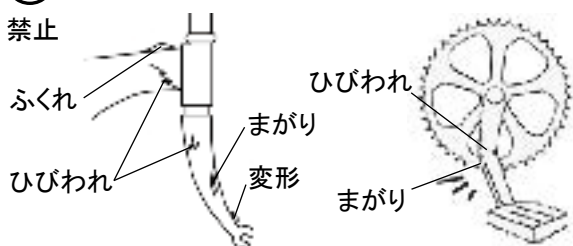
安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、財産の損害と自転車が壊れることを未然に防止するために、必ずお守りください。

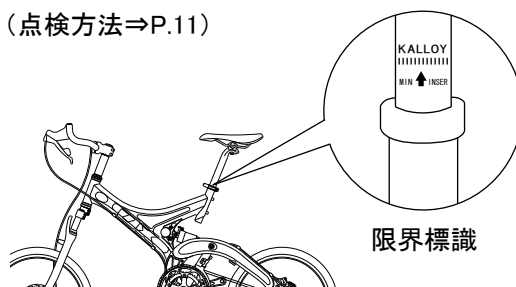
⚠警告

（危険です、乗る前に必ず点検してください！
異常を発見したら使用しないでください！）

フレームやクランク、ペダルなどの部品に変形やヒビ割れはないか

禁止　絶対曲げ戻して修理をしない。

走行中に壊れて事故・ケガのおそれがあり危険です。

シートポストは限界標識がかくれるまで差し込まれているか

（点検方法⇒P.11）

シートポストの折れや抜けにより事故・ケガのおそれがあります。

ハンドル・サドルの固定は十分か

（点検方法⇒P.11）

操縦できなくなり、事故・ケガのおそれがあります。

前輪・後輪の固定は十分か

（点検方法⇒P.12）

走行中に外れて事故・ケガのおそれがあり危険です。

ブレーキはよく効くか

（点検方法⇒P.11）

止まれずに衝突して事故・ケガのおそれがあります。

ネジがゆるんでいるところはないか

ゆるんでいるところが壊れて事故・ケガのおそれがあります。

タイヤの空気圧は十分か

（点検方法⇒P.12、13）

パンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。

●その他の点検項目は10～12ページをご覧ください。

安全上のご注意

⚠警告 （危険です、危ない乗り方をしないでください！）

乱暴な乗り方はしない

禁止
階段や縁石の乗り降り
アクロバット走行など

自転車が壊れて事故・ケガのおそれがあります。

2人乗りをしない（道路交通法で禁止）

禁止
ハブステップの禁止

操縦が不安定で転倒したり、自転車が壊れて事故・ケガのおそれがあります。

片手運転、手ばなし運転をしない

禁止

危ないときによけたり止まることができず、事故・ケガのおそれがあります。必ず両手でハンドルを握ってください。

夜間や暗いところでは無灯火で乗らない

禁止

事故・ケガのおそれがあります。

強制
必ず前照灯（ランプ）を装備し、点灯してください。ランプが点かないときは降りて押してください。

ハンドルに物をさげたりペットを引いて乗らない

禁止

車輪に物が巻き込まれたり、バランスを崩して転倒し、事故・ケガのおそれがあります。

安全上のご注意

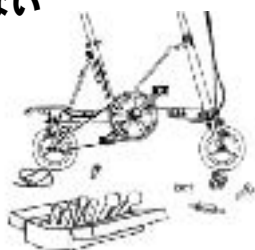
警告 （危険です、必ずお守りください！）

正しい取り扱い方法を守る

強制

間違った取り扱いをすると事故・ケガのおそれがあります。

フレームに関する改造･分解･突出物(ハブステップ等)の装着および指定箇所以外の調整はしない

禁止

正しく動かずに事故を起こしたり歩行者に危害をおよぼすおそれがあります。

引っかかりやすい服装やすべりやすい靴かかとの高い靴などをはいて乗らない

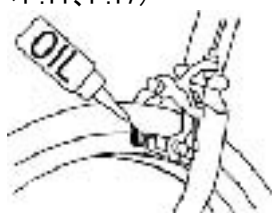
禁止

転倒するおそれがあります。ズボンのすそはセイフティバンドやクリップなどでとめて乗ってください。

ブレーキに油をつけない

（点検方法⇒P.11、P.17）

禁止

OIL

ブレーキに油がつくとブレーキが効かなくなり、事故・ケガのおそれがあります。

交通ルールを守る

強制

交通ルールを守らないと事故でケガをしたり、他の人にケガを負わせるおそれがあります。

パンクや故障など異常があるときは乗らない

禁止

ふくれ
ひびわれ
ひびわれ
まがり
変形
まがり

事故・ケガのおそれがあります。
異常を発見したら使用せずに、すぐお店にご相談ください。

初回点検・定期点検は必ず実施する

（点検方法⇒P.10）

強制

長く使っているとネジがゆるんだり調整がズレたりしてきます。必ず実施してください。

安全上のご注意

⚠注意（安全のために必ずお守りください！）

走行するとき

強制

- タイヤに十分空気を入れてから乗る。
  （空気圧が低いと早くタイヤが減り、パンクもしやすくペダリングが重くなります）
  （適正な空気圧はタイヤの側面の刻印をご覧ください）

ブレーキをかけるとき

強制

- いつでもブレーキレバーを握れるようにして乗る。
- ブレーキは先に後ブレーキをかけてから前後ともブレーキをかける。（片方だけかけるとスリップして危険です）
- 急ブレーキをかけないでいいように、いつも前方に注意してスピードをひかえめにする。
- 雨天時はブレーキが効きにくくなるので、ゆっくり走行する。

カーブを曲がるときは

強制

- カーブで急ブレーキをかけない。（横すべりして危険です）
- カーブを曲がるときは手前でスピードを落とす。
- カーブを曲がっている間は、ペダリングを止める。（車体が傾いている側のペダルが下になっていると、ペダルが路面に当たるので危険です）

衝突や転倒したときは

強制

- 必ず点検する。
- 異常を発見したら使用せずに販売店に相談する。

乗りなれない自転車を乗るときおよび初心者の方は

強制

- 自転車での乗り入れが許されている空き地や公園など安全な場所でよく練習してください。

回転部分には

禁止

- 手や足を入れない。子供がそばにいるときは、特に注意する。（挟まって大ケガをします）
- スポークの間に物を入れたり挟んだりしない。（車輪に挟まって転倒してしまいます）

風・雨・雪がひどいときや視界が悪いとき

強制

- ムリに乗らない。自転車から降りて押して歩く。

サビを防止し、長持ちさせるために

強制

- 定期的に手入れをする。（手入れの仕方は17ページをご覧ください）

走行目的以外の使用

禁止

- 踏み台など走行目的以外に使わない。（転倒してケガをするおそれがあります）

点検方法

強制　乗るまえの「日常点検」と販売店にお願いする「初回点検」「定期点検」を必ず実施してください。
点検にかかる費用等に関しては、販売店にお問い合わせください。

【初回点検】

● **購入後100km到達時または、２か月以内に点検を受けてください。**
初期の内は特にネジがゆるみやすいので、必ず販売店で点検を受けてください。

【定期点検】

● **購入後６か月以内、１２か月以内、その後は１年ごとに点検を受けてください。**
安全に長くお使いいただくために必ず販売店で定期点検を受けてください。
長い間使用せず、再び使用するときも点検をお受けください。

【日常点検】

● **乗るまえに必ず点検し、安全を確かめてから乗ってください。**
変形や破損している部分は必ず新品と交換してください。

各部の点検

記載例　点検箇所→ハンドルの固定→　11P←点検方法を説明しているページ

◆正しい乗車姿勢→13P
◆ハンドルの固定→11P
◆ブレーキレバーの固定→11P
ブレーキの効き→11P
◆サドルの固定→11P
◆ブレーキシュー（ゴム）の減り→11P
◆クランクの曲がり・ガタ・回転性→12P
◆タイヤのキズ・摩耗
空気圧→12P
◆チェーン油切れ・たるみ→12P
◆ペダルの曲がり・ガタ・回転性→12P
◆車輪の固定・振れ・ガタ・回転性→12P

点検方法

安全を確保するために、各部の点検は注意点を守って確実に行ってください。これを怠りますと、思わぬ事故につながります。ご不明な点がありましたら、販売店にご相談ください。
ガゼルは、使用する部品によって、点検方法が大きく変わる可能性があります。ここでは点検方法の一例を挙げておきますので、詳しい点検方法については、ご使用になる部品の取扱説明書をよくお読みください。

ハンドル・サドル

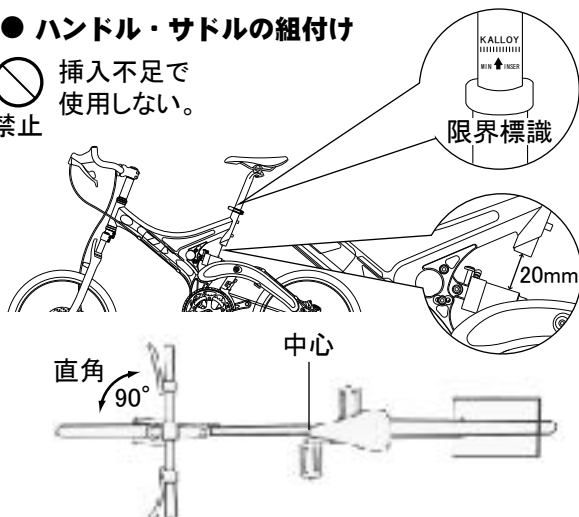
● **ハンドル・サドルの組付け**

禁止 挿入不足で使用しない。

限界標識

20mm

直角 90°

中心

※シートポストとリアサスペンションの間が20mm以上空いていること。
※限界標識がかくれるまで挿し込まれていること。
※ハンドルが前輪に直角に固定されていること。
※サドルがフレーム中心と合っていること。
※サドルに座ってブレーキやハンドルをムリなく操作できること。

● **ハンドルの固定**
（前輪を足で固定してハンドルを動かしてみる）

左右に
上下に

※力を入れても回らないこと

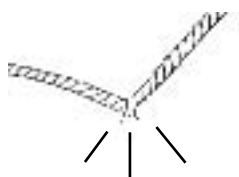
● **サドルの固定**
（サドルの前後を持って動かしてみる）

左右に
上下に

※力を入れても回らないこと

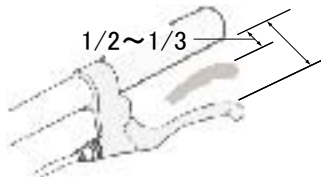
ブレーキ

強制 ブレーキワイヤーは消耗品です。異常がなくても２年に１度は交換してください。

● **ワイヤーのサビ・切れ・ほつれ**

※サビ・切れ・ほつれがないこと

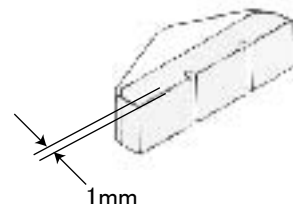
● **レバーの固定**
（指で押してみる）

※ズレ動かないこと

● **ブレーキの効き具合**
（レバーを引いて効き具合をみる）

1/2～1/3

※すきまが1/2～1/3になるまでにブレーキがよく効くこと
※レバーの作動が重くないこと

● **ブレーキシューの減り**

1mm

※溝の残りが1mm以上あること
※ディスクブレーキの場合は、選択した部品の取扱説明書にしたがってください。

点検方法

車　輪

● **固定（自転車を持ち上げて車輪を上から強くたたいてみる）**

車輪をたたく

車輪を地面から浮かす

※車輪がズレたりガタついたりしないこと。

● **タイヤのキズ・摩耗**

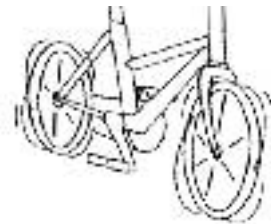
摩耗

深いキズ

※コードが見える深いキズがないこと。
※接地面の模様が十分残っていること。

● **空気圧**

※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。
（図の数値は表示の例）

● **振れ・ガタ・回転性（自転車を持ち上げて車輪を回してみる）**

※スムーズに回転し大きな振れやガタがないこと。

ギヤクランク・ペダル・ディレーラー

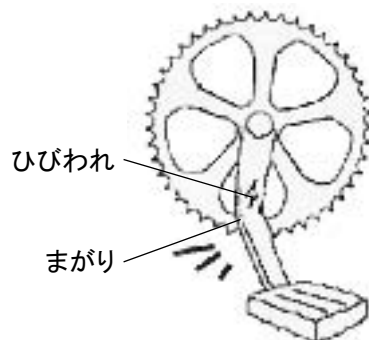
● **ギヤクランク・ペダル・ディレーラー**

※クランク・ペダルにガタがなくスムーズに回転し、チェーンが外れないこと。
※ギヤクランクに変形やひび割れがないこと。

● **チェーン**

※油切れがなく、指で動かしてみたときなめらかに動くこと。
※チェーンが大きくたるんでいないこと。

ひびわれ

まがり

正しい取り扱い

【タイヤへの空気補充の仕方】

◆ご使用するタイヤの種類によって、バルブの形状・空気圧が異なります。ご使用するタイヤのバルブに合ったポンプで空気を補充してください。また、ポンプの口金も製造メーカーによって異なりますので、次に一例を挙げておきます。詳しくは販売店にご相談ください。

種　類	バルブの形状	ポンプ(口金)の種類	空気の入れかた
米　式	キャップ ボディー	口金	・ボディーにポンプの口金を取付けて空気を入れ、空気圧を確認する。

【空気圧の測定】

⚠注意：空気圧が少ないと、タイヤの接地面積が広くなって走行抵抗が増し、ペダリングが重くなります。
また、タイヤの摩耗やパンク、リムの変形の原因になります。
必ずタイヤ側面に表示している空気圧で使用してください。

◆リアサスペンションユニットの空気圧は、付属の「ROCKSHOX取扱説明書」にしたがってください。

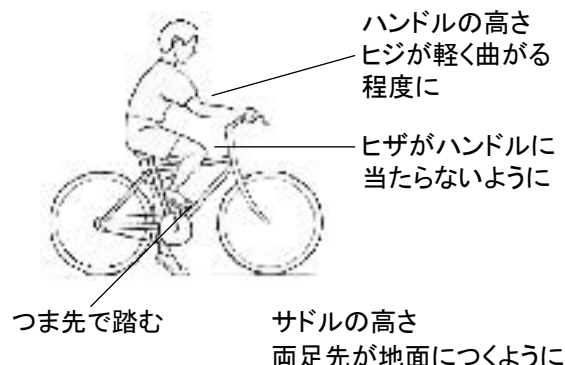
各部の調整方法

安全を確保するために、各部の調整は注意点を守って確実に行ってください。
これを怠りますと思わぬ事故につながります。ご不明な点がありましたら、お店にご相談ください。また、調整はお子様にはさせないようにしてください。
ガゼルは、使用する部品によって、調整方法が大きく変わる可能性がありますので、ここではガゼル独自の調整方法のみを挙げておきます。
各部の調整方法については、ご使用になる部品の取扱説明書をよくお読みになり、その指示にしたがってください。
調整作業に不安がある時は、無理をせず販売店にご相談ください。

⚠注意（安全のために必ずお守りください！）

【正しい乗車姿勢】

サドルに腰をおろし両手をハンドルにおいた状態で、

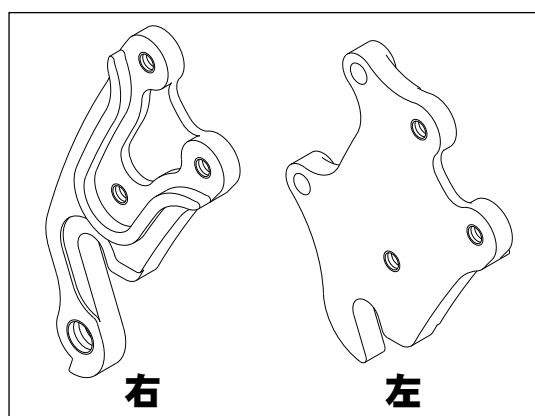
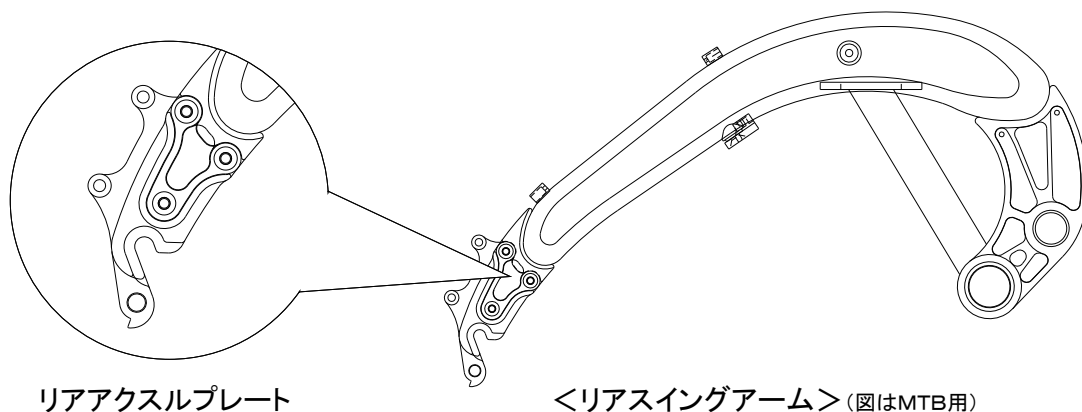
①両足先が確実に地面につくこと。
　※初心者の方および慣れない内は、安全に足が地面につくこと。
②上半身が少し前に傾き、ヒジが軽く曲がること。
③ペダルをこいだときヒザがハンドルに当たらず、安全にハンドルの操縦操作ができること。
④円滑にペダルをこぐことができ、ブレーキ、ベルなどが安全に操作できること。

各部の調整方法

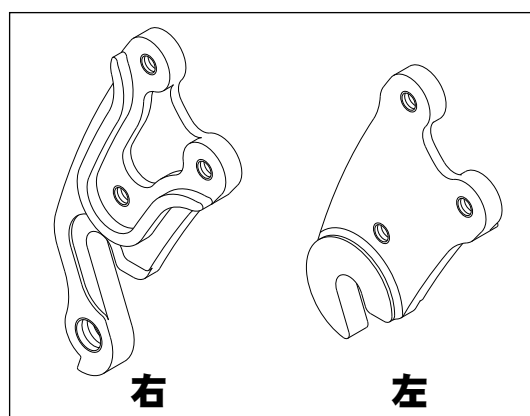
ガゼルは、使用する部品により、各部の調整方法が変わりますが、フレームに関してはガゼル独自の調整方法があります。ガゼル独自の調整可能箇所は次の通りですので、お好みにより調整してください。

【リアアクスルプレート】

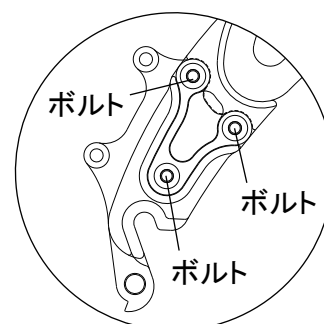
リアアクスルプレートを交換(工場出荷時は、購入時選択していただいた仕様のリアアクスルプレートのみ付属しています。交換するには、別途部品購入が必要です。)することにより、オーバーロックナット幅寸法130mmと135mm両方のホイールがスイングアームをゆがめることなく装着可能です。また、オーバーロックナット幅寸法135mmには、ディスクブレーキも装着可能です。

リアアクスルプレート　　＜リアスイングアーム＞(図はMTB用)

右　左

＜MTB用リアアクスルプレート＞
オーバーロックナット幅寸法135mm

右　左

＜ROAD用リアアクスルプレート＞
オーバーロックナット幅寸法130mm

≪交換方法≫

1）ボルトをはずす。
2）交換したい仕様のリアアクスルプレートを、左右に注意し、ボルトに中強度ボルト緩み防止剤（ロックタイト242など)を塗布して、12N(kgf)のトルクで締付ける。
3）左右同様に交換する。

ボルト
ボルト
ボルト

▲警告：ボルトを締める際は、ロックタイト242などの中強度ボルト緩み防止剤を塗布してください。中強度ボルト緩み防止剤を塗布しないと、走行中にネジが緩み、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

⚠注意：リアアクスルプレートには左右があります。誤った方に無理に取付けようとすると破損の原因となります。

各部の調整方法

【スイングアームアーチ】

ガゼルは、使用するホイールやブレーキの種類により、前述したリアアクスルプレートを交換し、スイングアームアーチの向きや種類を換える必要があります。ご注文いただいた仕様を変更される場合は、販売店にご相談ください。

ＭＴＢ用リアアクスルプレートを使用する場合は、ディスクブレーキも装着可能です。

進行方向

スイングアーム

54-406

＜上方から見た図＞
（図はＭＴＢ用）

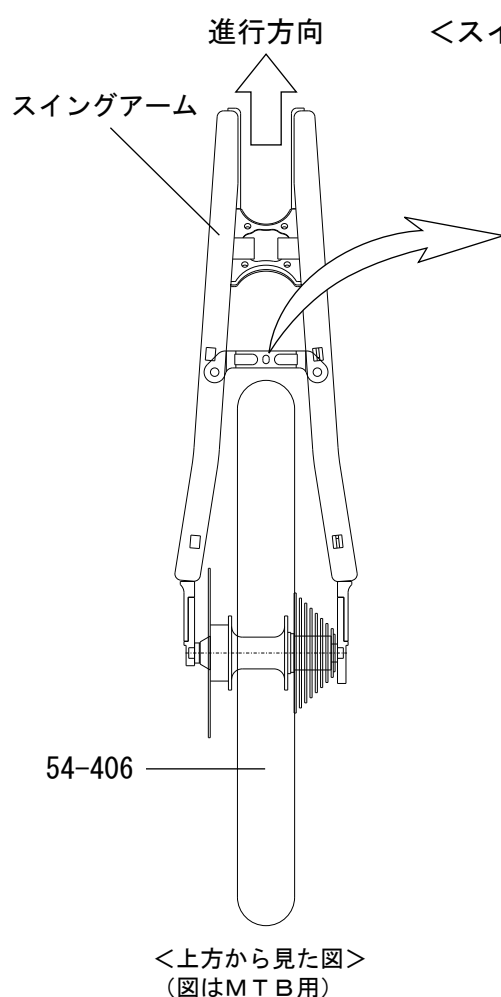
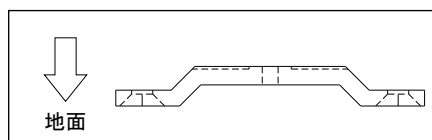
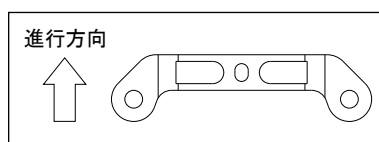
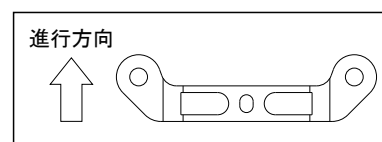
＜スイングアームアーチ＞

地面

後方から見た図

進行方向

上方から見た図Ａ

進行方向

上方から見た図Ｂ

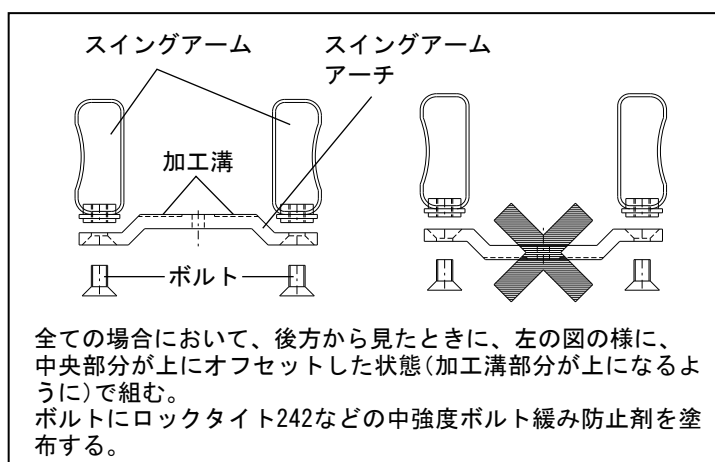
※次の場合のみ、上方から見た図Ｂの向きになります。
406リムにロングアーチキャリパーブレーキ（57㎜）を使用し、タイヤサイズ20×1.5（37-406）以下の時。
その他の仕様の時は、上方から見た図Ａの向きになります。
太いタイヤにキャリパーブレーキは装着できない場合があります。

スイングアーム

スイングアーム
アーチ

加工溝

ボルト

全ての場合において、後方から見たときに、左の図の様に、中央部分が上にオフセットした状態(加工溝部分が上になるように)で組む。
ボルトにロックタイト242などの中強度ボルト緩み防止剤を塗布する。

≪交換方法≫

1）ボルトをはずす。
2）スイングアームアーチの向きや種類を換える。
3）ボルトに中強度ボルト緩み防止剤（ロックタイト242など）を塗布し、12N(kgf)のトルクで取付ける。

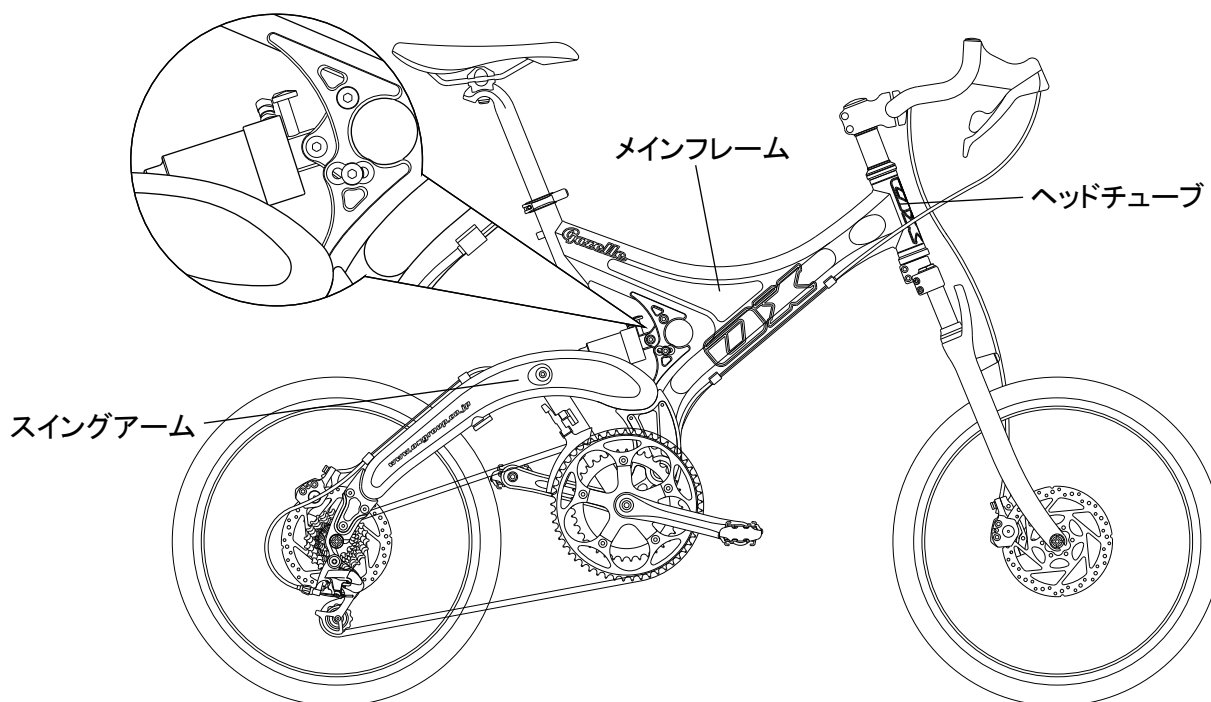
▲警告：ボルトを締める際は、ロックタイト242などの中強度ボルト緩み防止剤を塗布してください。中強度ボルト緩み防止剤を塗布しないと、走行中にネジが緩み、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

⚠注意：スイングアームアーチには向きがあります。誤った方向に無理に取付けようとすると破損の原因となります。

各部の調整方法

【ヘッドチューブアングル】

ガゼルは、お好みによりヘッドチューブの角度を変えることができます。使用する部品により、各部の数値が変わりますので、次に一例（P.18「仕様諸元」の仕様で行った場合）を挙げておきます。

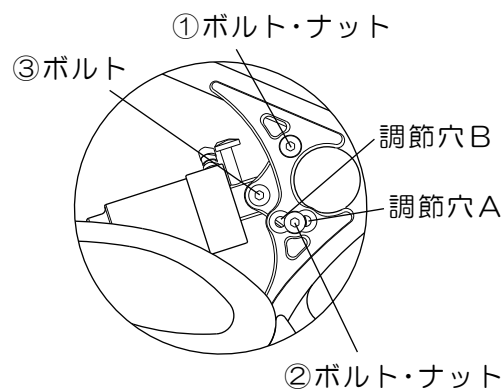
メインフレーム
ヘッドチューブ
スイングアーム

≪調整方法≫

1）①ボルト･ナットを1～2回転ゆるめる。
2）メインフレームとスイングアームを固定しながら②ボルト･ナットを外す。

⚠注意：②ボルト･ナットを外すと、重量がかかっている方向にメインフレームとスイングアームが勢いよく動き、車体の破損やケガのおそれがあります。

3）動かしたい方の調節穴に合わせて、②ボルト・ナットを差し込み、12N（kgf）のトルクで締付ける。
4）①ボルト･ナットを12N（kgf）のトルクで締付ける。

▲警告：③ボルトが外れると、メインフレームとスイングアームが激しく動き、車体の破損や事故、転倒・転落のおそれがありますので、③ボルトをゆるめたり外したりしないでください。

①ボルト・ナット
③ボルト
調節穴B
調節穴A
②ボルト・ナット

調節穴の位置	ヘッドチューブアングル	直進安定性	ハンドリング
工場出荷時	69.0°（P.18「仕様諸元」の仕様時）	標準状態	標準状態
A	68.5°（P.18「仕様諸元」の仕様時）	高くなる	重くなる
B	69.5°（P.18「仕様諸元」の仕様時）	低くなる	軽くなる

お手入れと保管

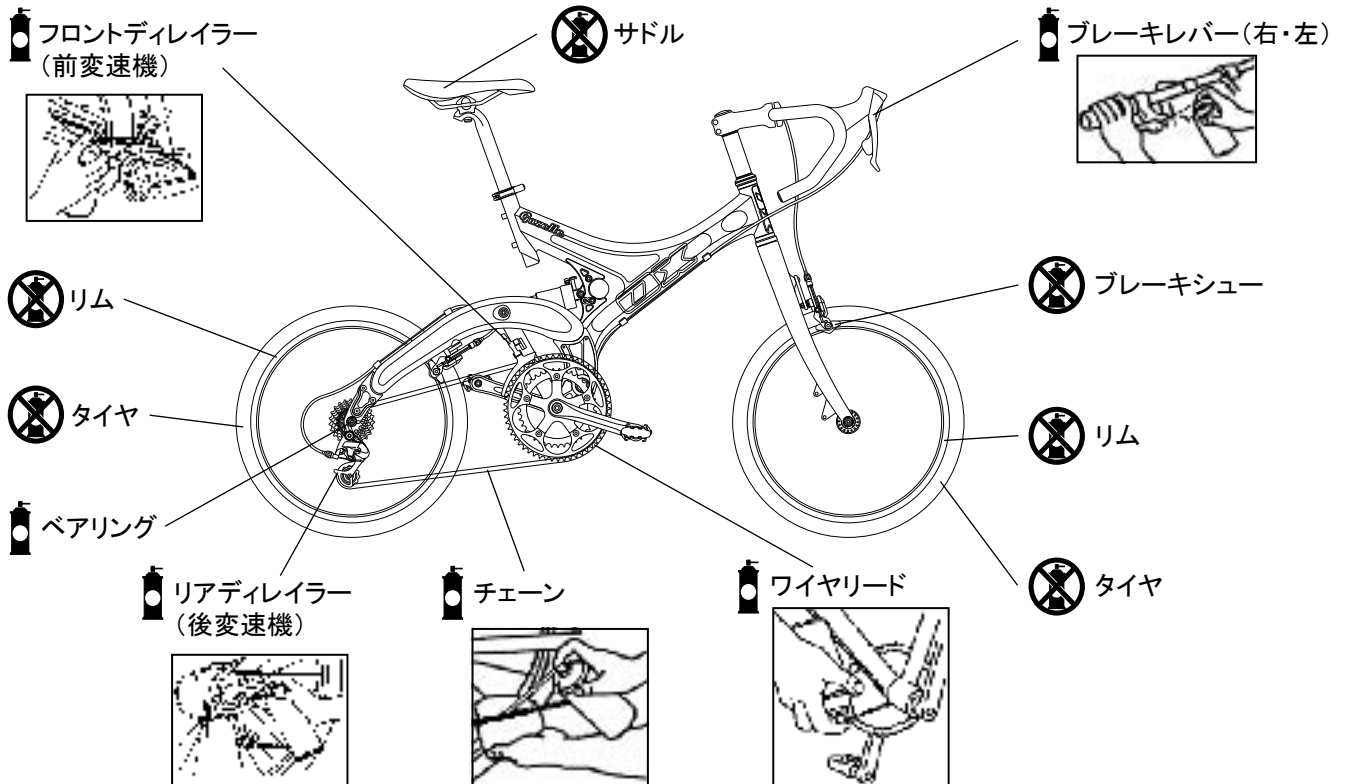
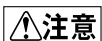
【お手入れのしかた】

乾いた布やブラシでホコリや汚れをよく落としてからお手入れしてください。汚れがひどいときは水洗いしてよく乾かしてください。

警告

注油禁止箇所　この記号の箇所には絶対に「油」や「グリス」をつけないでください。

注 油 箇 所　この記号の箇所に注油してください。（半月に１回程度または150km走行ごと、清掃完了後）

フロントディレイラー（前変速機）
サドル
ブレーキレバー（右・左）
リム
ブレーキシュー
タイヤ
リム
ベアリング
タイヤ
リアディレイラー（後変速機）
チェーン
ワイヤリード

● 塗装部は、「研磨剤の入っていないワックス」でみがいてください。

注意：絶対にタイヤにワックスをつけないでください。タイヤにひび割れが生じます。

● メッキ・ステンレス部は、「サビ止め油」や「機械油」を少しふくませた布でふいてください。

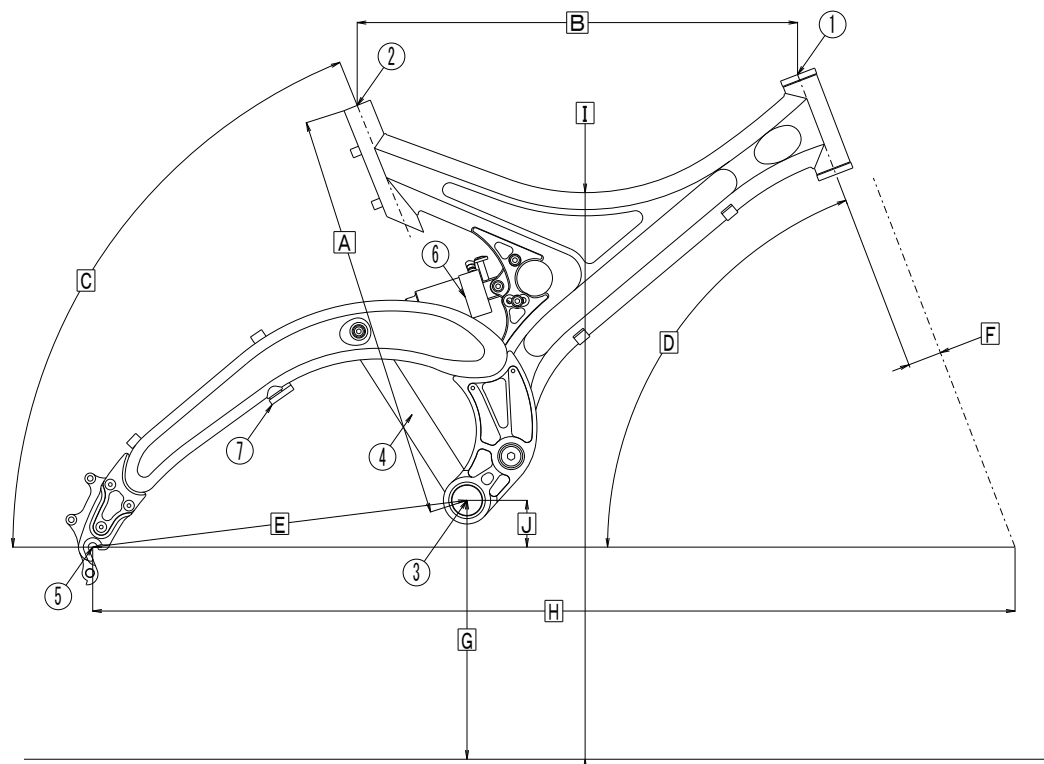
● 湿気・粉塵の多いところに置くときは、お手入れの回数を多くしてください。

【保管するときは】

● 盗難防止のため必ずカギをかけて保管してください。

● 雨のかからない乾燥した場所に保管してください。屋外に保管される場合にはサイクルカバーやビニールシートを使用してください。

● 転倒などしないように安全なところに保管してください。

仕様諸元

A	シートチューブレングス	460mm(未乗車時)
B	トップチューブレングス	494mm(水平距離)
C	シートチューブアングル	67.5°・68°・68.5°
D	ヘッドチューブアングル	68.5°・69°・69.5°
E	チェーンステーレングス	423mm
F	フォークレイク	40mm
G	ボトムブラケットハイト	290.5mm(ﾀｲﾔ20×1.35時)
H	ホイールベース	1035mm
I	ｽﾀﾝﾄﾞｵｰﾊﾞｰﾄｯﾌﾟﾁｭｰﾌﾞﾐｯﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ	636mm(ﾀｲﾔ20×1.35時)
J	ボトムブラケットアップ	52.5mm

①	ヘッドチューブサイズ	ＯＳ(1 1/8ｲﾝﾁ)
②	シートポストサイズ	φ27.2mm
③	ボトムブラケットサイズ	ＪＩＳ68mm
④	フロントディレイラー取付タイプ	バンド式（φ31.8mm）
⑤	リアエンド幅(部品交換による変更)	130mm(ｷｬﾘﾊﾟｰﾌﾞﾚｰｷのみ) 135mm(ｷｬﾘﾊﾟｰ&ﾃﾞｨｽｸ可)
⑥	リアショックユニット	ROCKSHOX Bar2.1
⑦	対応リムサイズ	20”（406＆451） 24”（507）要部品交換
⑧	フレーム重量(ﾘｱｼｮｯｸﾕﾆｯﾄ付)	3.1ｋｇ

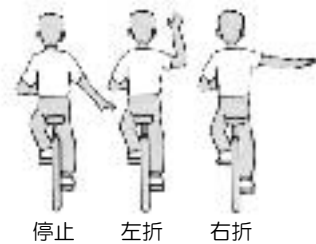
※各寸法は、ストローク80mm、レイク40mmのフロントサスと20×1.35のタイヤを装着した時のものです。
※出荷時のキャリパーブレーキアーチサイズは57mmのみ

交通ルールを守りましょう

【交通ルールを守りましょう】

1.自転車の正しい乗り方

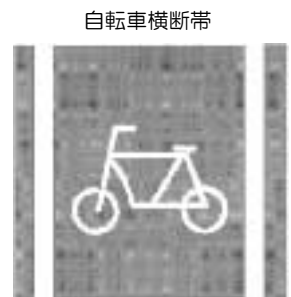
- 発進するときは、見通しのきく道路の左側で、後方と前方の安全を確かめる。
- 右折、左折するときは、早めに合図する。
- 停止するときは、安全を確かめて停止の合図を行い、道路の左側に沿って停止し、左側に降りる。

停止　左折　右折

2.自転車の通るところ

- 車道を通るときは、車道の左側に沿って通行する。
- 自転車は路側帯を通ることができますが、歩行者の通行に大きな妨げになるところや、白二本線の表示のあるところは通れません。
- 自転車歩道通行可の標識のある歩道は、つぎの方法により通行することができます。
  - 歩道の車道寄りの部分を徐行する。
  - 歩行者の通行を妨げるおそれのある場合は、一時停止する。
- 自転車道のあるところでは、自転車道を通る。
- 道路を横断するとき、近くに自転車横断帯があれば、自転車横断帯を通る。
  自転車横断帯がなく近くに横断歩道があるときは、自転車を押して横断歩道をわたる。

自転車および歩行者専用

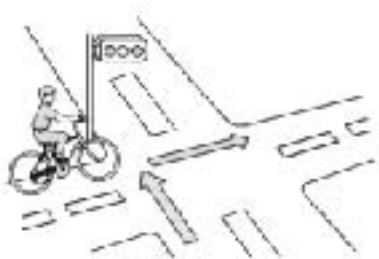
普通自転車の歩道通行部分

自転車専用

自転車横断帯

3.自転車が通行できる歩道、路側帯を通るときの注意

- 歩行者の通行を妨げない。
- こども、身体の不自由な人が歩いているときは、一時停止か、十分速度を落とす。

4.交差点の通り方

- 右折の方法
  信号などや交通整理が行われているところ
  信号がなく交通整理が行われていないところ

- 自転車横断帯があるときは、その自転車横断帯を通る。
- 自転車進入禁止標識のある交差点では、左側の歩道に乗り入れて自転車横断帯を通る。

交通ルールを守りましょう

5.自転車を駐車するときの注意

- 自転車を駐車するときは、歩行者や車の通行の妨げにならないように注意し、必ずカギをかける。自転車駐車場がある場合にはそこに置く。

6.走行中の注意

- 自動車のすぐうしろに続いたり、それにつかまって走らない。
- 自動車が渋滞しているときは、その前に割り込んだり、車の間をぬって前へ出ない。

- 他の自転車と並んで走ったり、ジグザグ運転をしたり、競争をしない。
- 横断、転回する場合は、自転車横断帯か横断歩道を渡る。これらがないところでは、見通しのきくところで、車の途切れたときに十分に安全を確認して渡る。

- 止まっている自動車のそばを通るときは、急にドアが開いたり、かげから歩行者がとび出したりするので注意する。
- 交差点近くでは、左折自動車に巻き込まれないように注意する。

- 一時停止の標識のあるところや狭い道から広い道へ出るときは、一時停止して安全を確認する。
- 自転車に乗るときは、運転者から見やすいように明るい目だつ色の衣服を着る。

- 路面が凍結や工事中の鉄板ですべりやすいところや、風雨・雪の強いとき、視界が悪いときは、自転車を押して歩く。
- 曲がり角や障害物で見通しの悪いところでは、スピードを落として注意して通る。

- 酒を飲んだときや疲れが激しいときは乗らない。
- 走りながら携帯電話をかけたり操作しない。

安全のための調整・点検

安全確保のために、必ず１年ごとに点検・調整を受けてください。

Ｖ：異常なし　Ａ：調整・注油　△：修理　×：取替　Ｃ：清掃　その他

点検項目と内容			初回 2か月	2回目 6か月	3回目 1年	4回目 2年	5回目 3年	6回目 4年	7回目 5年
フレーム、前ホーク		● 曲がり、ヒビ割れ ● ヘッド・ハンガの回転・ガタ							
ハンドル		● ハンドルポストの挿入深さ ● 取付・固定							
サドル		● シートポストの挿入深さ ● 固定 ● クランプレバーの動き・締り具合							
ブレーキ		● レバーの引き代、ブレーキの効き ● 各部の固定 ● ブレーキブロック・ライニングの摩耗 ● ワイヤーの錆・ほつれ							
ギヤクランク		● クランク・ギヤ板の変形・ヒビ割れ ● ナットの締付・固定							
ペダル		● 回転の具合・ガタ ● 軸の曲がり ● 締付・固定							
チェーン		● チェーンの張り・たるみ ● 油切れ ● チェーンの外れ							
車輪	ハブ	● ナットの締付・固定 ● 玉押しのガタ							
	タイヤ	● 空気圧 ● キズ・摩耗							
	リム	● 変形・振れ							
ベル		● 取付・固定 ● 鳴り具合							
リフレクタ		● 取付・固定 ● 汚れ・割れ							
ランプ		● 取付・固定・点灯							
ネジ類		● 締付のゆるみ							
注油箇所		● チェーン・ワイヤー、ブレーキレバー ● フロントディレイラー、リアディレイラー							
実施年月日（年月日）			. .	. .	. .	. .	. .	. .	. .
実施者			印	印	印	印	印	印	印

＊販売店様へ：クランクの締付トルクをチェックし、不足している場合は必ず増し締めしてください。

お問い合わせ先
株式会社 オーエックスエンジニアリング ■本　　社 千葉県千葉市若葉区中田町 2186-1 TEL(043)228-0777 FAX(043)228-3334 URL http://www.oxgroup.co.jp/

販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング
〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1
URL www.oxgroup.co.jp

不法廃棄はしないでください。

落丁本・乱丁本はお取替いたします

Gazelle取扱説明書
2007年3月2版